



ALSO プロバイダコース in 小倉医療センター JUNE 2023

Advanced Life Support in Obstetrics

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案したものであり、1993年にコース権利American Academy of Family Physicians(AAFP-米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年までに、50ヵ国以上でプロバイダークースが開催されています。

コースの内容は、事前にe-learningで学習していただき、受講日当日は1日目に症例検討、2日目に実地訓練のためのマネキンを使用したコースを予定しています。ALSOはLDRにおける産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠中の合併症管理、出産危機における両親のサポート、そしてチームトレーニングといったテーマも含まれています。実技のワークステーションでは、少人数グループで、肩甲難産、胎位・胎向異常、補助経膈 分娩、産後大出血の4つについて、多職種間でメンタルモデルを共有できるように、楽しく学んでいただきたいと思います。

コースの最後には、筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)を行います。プロバイダークースに合格すると、受講生は3年間有効の認証を受けることができます。受講生は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、看護師、そして医学部生など対象としており、現在あるいは近未来の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての方が対象となります。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは明らかです。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOです。

2020年に第1回ALSOプロバイダークースin小倉医療センターの開催を予定しましたが、COVID-19の感染拡大に伴う相次ぐ緊急事態宣言のために中止せざるを得ませんでした。その後3年間、世界中がCOVID-19との闘い続ける中、福岡県でALSOプロバイダークースを開催したいと願い続けてきました。この度、縁あって九州ALSOのメッカである長崎医療センターの先生方に共同開催のお話を頂き、初開催をすることができます。小倉医療センターでは初開催となりますが、参加頂いた受講生が満足できるコースとなるように一步一步積み重ねていきたいと思っております。是非ご応募お待ちしております。

国立病院機構小倉医療センター
小倉ALSO 代表 川上浩介



【開催要項】

日時: 令和5年6月2日(金) 12:30~18:00 予定

令和5年6月3日(土) 08:30~18:00 予定

場所: 国立病院機構小倉医療センター 新外来棟2階 大会議室

参加費用: 45,000 円

受講者数: 15 名

募集期間: 令和5年4月10日(月)~4月16日(日)

【応募方法】

下記メールアドレスに

1.名前、2.ふりがな、3.ローマ字表記、4.所属病院、5.診療科、6.役職

7.職種（医師、助産師、看護師、その他）、8.卒業年度（西暦）

9.現住所（郵便番号から）、10.携帯電話番号、11.PC メールアドレス

※定員になり次第、募集は終了いたしますのでご了承ください。

※受講の可否は、それぞれのメールアドレスに4月18日までにご連絡します。

※ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先にご連絡下さい。

応募申込先: 国立病院機構小倉医療センター 小倉 ALSO 事務担当 産婦人科 石橋弘樹

MAIL: ishibashi.hiroki.yh@mail.hosp.go.jp

